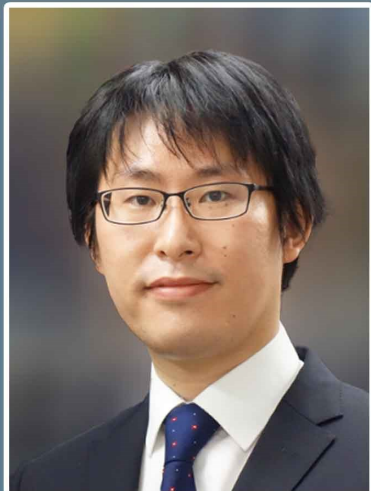


奈良希愛×高松佑介 ピアノ演奏法講座

～作品へのアプローチの仕方を学ぶ～



©Akira Muto



ピアノ曲を学んだり教えたりする際、作品をどのように理解し、表現すればよいでしょうか？

この講座では、ピアニストと音楽学者がそれぞれの立場から、具体的な作品へのアプローチに迫ります。

曲の背景に関するレクチャー（高松）、相互のディスカッション、全曲演奏（奈良）を通して、よりよい演奏法や解釈の可能性を様々な角度から検討する予定です。演奏や指導の幅を拓ける方法を、共に模索してゆきましょう。

日本とドイツを拠点に演奏・教育の両輪で活躍を拓けるピアニスト・奈良希愛（国立音楽大学准教授）と、ヨーロッパで研鑽を積んだ音楽学者・高松佑介（千葉工業大学助教）によるピアノ演奏法講座の第2シリーズ！



第1回：2024.5/16（木）10:30-12:30

多彩なバロック舞曲の世界——J.S.バッハ《フランス組曲》第5番ト長調を例に



第2回：2024.9/25（水）10:30-12:30

F.シューベルトの詩情——《即興曲集》op.90の表現を探る



第3回：2024.11/27（水）10:30-12:30

L.V.ベートーヴェンのピアノ・ソナタの解釈——第17番ニ短調《テンペスト》に立ち向かう

奈良 希愛（なら きあい）

市立千葉高校普通科在学中、全日本学生音楽コンクール全国第1位。東京藝術大学卒業。在学中大学より推薦を受け安田生命クオリティオブライフ文化財団音楽学部奨学生。同大学卒業後、ドイツ学術交流協会奨学生としてベルリン芸術大学首席卒業後、文化庁在外研修員として同大学大学院国家演奏家コース満場一致の最高点で首席修了。またマドリッド王立高等音楽院、ローマでも研鑽を積む。その後全額給費生及びローマ・ミュージックファンデーション奨学生としてマンハッタン音楽院大学院プロフェッショナルスタディー修了。同音楽院室内楽科助手。R.シューマン国際音楽コンクール・ピアノ部門日本人初の第1位優勝。浜松、プゾーニ、J.イトゥルビの国際コンクールでも上位入賞。またウィグモアホール国際歌曲コンクール1位なし4位。ソリスト、アンサンブル、伴奏、現代音楽と幅広い分野で、ドイツ国営放送曲主催ヴァルトブルク城演奏会をはじめポーリャ国際、ライプツィヒ・バッハ国際、台湾国際現代曲世界各国から招待を受ける。ベルリン響、テネリフェ管、新日本フィルをはじめ国内外のオーケストラと共演。ドレスデン国立歌劇場室内楽のタベでは、ウィーンの音楽専門誌から絶賛された。マンハッタン音楽院、仁済大学、シンガポール国立大学、吉林音楽大学など世界で招聘を受け、マスターコースを行い、国際コンクールの審査員も務める。韓国・金海国際音楽祭ピアノアカデミー招聘教授。浜松国際ピアノアカデミーでは、故中村紘子音楽監督から直接の依頼を受けレッスンを引き継いだ。現在日本とベルリン在住。国立音楽大学准教授。国際シューマン協会会員。

高松 佑介（たかまつ ゆうすけ）

千葉工業大学助教、青山学院大学・慶應義塾大学ほか非常勤講師。慶應義塾大学およびドイツ・ハレ大学にて大学院修士課程を修了後、フランス・シューベルトの器楽曲における中間楽章に関する論文でチューリヒ大学大学院にて博士号（音楽学）を取得。19世紀ドイツ語圏の音楽を主な研究領域とし、訳書にハンス・ヨアヒム・ヒンリッセン『ブルクナー 交響曲』（春秋社・2018年）がある。これまでにピアノを大森文子氏、土屋美寧子氏、井上直幸氏、アヴォ・クムジャン氏らに師事し、第59回全日本学生音楽コンクール東京大会ピアノ部門高校の部第2位（2006年）、ウィーン・モロス音楽セミナー春志賞（2006年）、第15回日本モーツァルト音楽コンクール一般の部第3位（2011年）などを受賞。

◎会場：カワイ表参道 コンサートサロン パウゼ

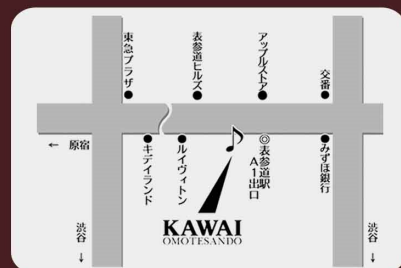
◎受講料：一般 3,500円 会員 3,000円 学生 1,000円

*会員はカワイ音楽教育研究会/カワイ表参道メンバーズピティナ会員が対象です

◆主催：奈良希愛・高松佑介 ◆マネジメント：カワイ表参道

◆後援：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）

◆お問い合わせ：カワイ表参道 Tel.03-3409-2511 ✉omotesando@kawai.co.jp



アクセス：東京メトロ表参道駅A1出口より徒歩2分